



くらもとたかふみ
蔵本隆文 議員

笠岡市はどこへ向かうのか？ 地域に役立つ職員力を求める



議員 今後の行政運営についてたずねる。人口減少がなぜ問題か。

市長 地域コミュニティの維持が困難になる。さらに市民生活の活力低下を招き、地域経済や財政にも大きな影響を及ぼす。公共施設維持ができず、規模縮小、廃止、税金や使用料負担が予測できる。

議員 創生総合戦略において、何が解決できるのか。

市長 人口減少問題と考える。

議員 新たな重要施策に、財政負担、費用対効果を考えているのか。

市長 さらに長期的な財政見通しをたて、PDCAサイクルで実施することで費用対効果を図り、必

要に応じてより有効な事業に改善する。

議員 意欲的な自治体では、職員をどんどん現場に行かしているが。

市長 地域担当職員という土壌があり、積極的に現場に向き市民協働による総合戦略を実行し、笠岡市が目指すまちを実現したい。

議員 まちづくり協議会に今後どのように機能してもらいたいのか。

市長 地域創生機能に期待する。

議員 市民病院を近隣と共同出資での建て替えは考えられないか。

市長 共同出資は考えていない。



ふじいよしあき
藤井義明 議員

まちづくり協議会との関係で 公民館のあり方の検討を

議員 生涯学習の振興機能を市長部局に移し、社会教育施設を教育委員会から分離すれば、重複する施策の一元化、事業の偏りの解消、行政の分業が壁になっている複合的な事業の実施も可能となるが。

市長 私は、社会教育行政部局は現時点では教育委員会できいと考えている。

議員 地域コミュニティ活動を活性化し、地域活動を通じた市民との協働によるまちづくりを推進するため今後公民館のあり方、活用方法を検討すべきと考えるが。

市長 生涯学習及び地域の拠点の地域づくりという面では検討していくべきである。



若者・女性を対象とした 模擬議会の開催を

議員 平成28年夏、選挙権が18歳に引き下げられる。市民一人一人が積極的に社会に参加しようとする意欲と態度を養成するため若者、女性を対象とした模擬議会の開催を行ってはどうかたずねる。

市長 若者や女性の意見を参考にしながら模擬議会についても前向きに検討したい。

議員 検討ではなく、してみたいという思いをたずねる。

市長 総合戦略にある若者、女性会議のご意見を参考にしながら具体的に詰めてまいりたい。

